

2026年9月期 第3四半期 決算説明資料

2026年8月10日

Circulate
the possibilities



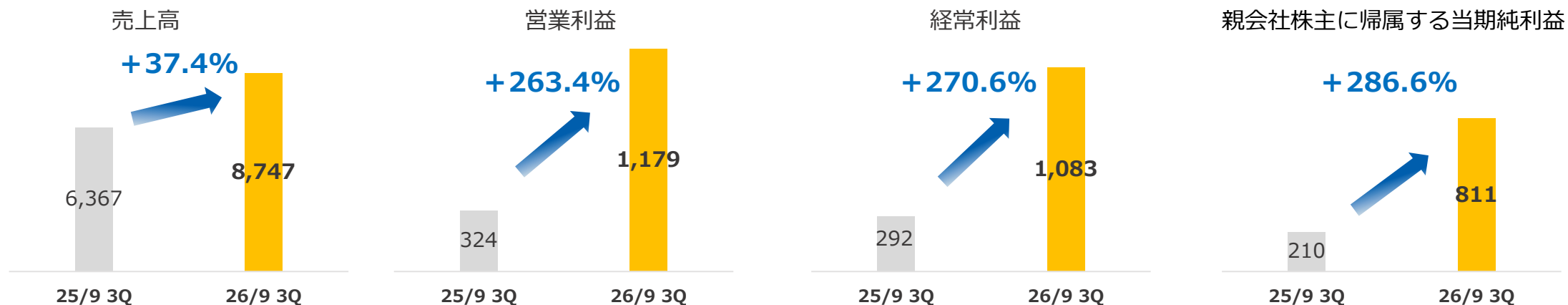
ASK

株式会社アサカ理研

証券コード：5724

連結損益計算書(前年同期比較)

百万円(百万円未満切り捨て)	25/9期 3Q	26/9期 3Q	増減	増減率
売上高	6,367	8,747	2,379	+37.4%
営業利益	324	1,179	855	+263.4%
経常利益	292	1,083	791	+270.6%
(経常利益率)	4.6%	12.4%	7.8pt	-
親会社株主に帰属する当期純利益	210	811	601	+286.6%



- 金の相場上昇および取り扱い数量の増加により前年同期比で増収増益
- 金をお客様に返却する取引の増加により金地金販売が前期比で減少し、売上高の増加は限定的となった

連結損益計算書(業績予想比較)

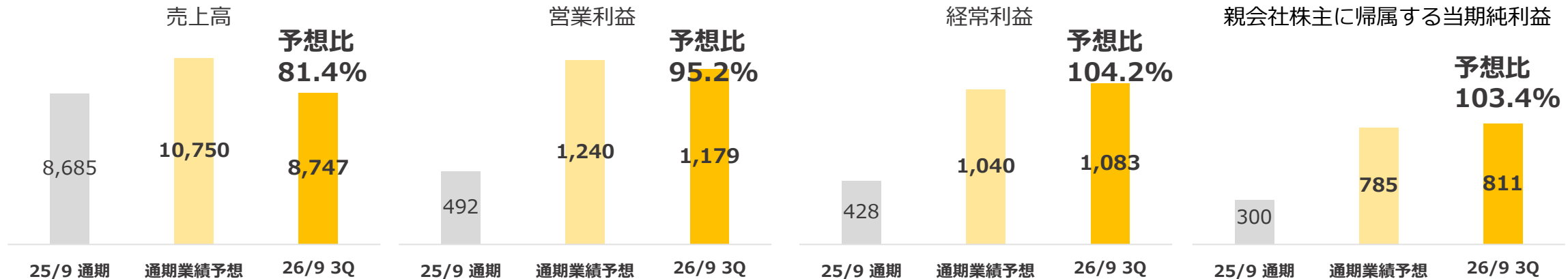
百万円(百万円未満切り捨て)

通期業績予想
※5/15公表値

26/9期 3Q

予想比

売上高	10,750	8,747	81.4%
営業利益	1,240	1,179	95.2%
経常利益	1,040	1,083	104.2%
(経常利益率)	9.7%	12.4%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	785	811	103.4%



- 貴金属事業において計画外のスポット取引が増加
- LiB再生事業の稼働開始に向けた整備や人員採用費等の一過性の費用増加を第4四半期に計画

セグメント別実績



百万円(百万円未満切り捨て)

※各セグメントの売上高については
セグメント間取引を含んでおります

	25/9期 3Q	26/9期 3Q	増減
貴金属 事業	売上高	5,299	2,114 + 39.9%
	セグメント利益	176	778 + 439.7%
環境事業	売上高	902	269 + 29.9%
	セグメント利益	66	42 + 63.8%
システム 事業	売上高	151	▲5.0 ▲3.6%
	セグメント利益	19	▲27 ▲143.1%

- + 金相場の上昇および取り扱い数量の増加により増収増益
- + 金をお客様に返却する取引の増加により金地金販売が前期比で減少し、売上高の増加は限定的に

- + 銅相場の上昇および販売数量の増加により増収増益。

- ▲ 品質管理システムの売上高が減少
- ▲ 間接部門の配賦負担の増加により減益

連結貸借対照表

百万円(百万円未満切り捨て)

	25年9月末	26年6月末	増減	要因
資産合計	13,806	17,668	3,862	LiB再生事業に向けた借入による資産増加
流動資産合計	7,922	8,704	782	借入による現預金の増加、 製品・仕掛品評価額の上昇（金相場上昇に伴う）
固定資産合計	5,884	8,964	3,080	
有形固定資産	5,502	8,224	2,722	LiB再生事業の設備取得に伴う建設仮勘定の増加
無形固定資産	55	130	74	
その他	325	609	283	
負債合計	8,880	11,794	2,913	
流動負債	3,085	3,963	878	借入金地金の評価額の上昇（金相場上昇に伴う）
固定負債	5,795	7,830	2,035	長期借入金の増加(LiB再生事業設備投資資金)
純資産合計	4,925	5,874	948	
自己資本比率	35.39	33.06	▲2.33	有利子負債増加に伴う自己資本比率低下、
D/Eレシオ（負債資本倍率）	1.15	1.28	0.13	D/Eレシオ上昇

- 長期借入金60億円（2024年12月契約）の借入は全額実行済
- LiB再生事業の設備は稼働開始まで建設仮勘定として計上
- 金相場の上昇により製品・仕掛品在庫の評価額および借入金地金の評価額が上昇

トピックス いわき工場新築建屋工事の進捗

当社いわき工場でLiB再生事業の量産プラント建設が進んでいます。



LiB再生事業は既存建屋の増築と専用建屋の新築により、量産プラントを設ける計画です。

建物の工事は概ね完了し、完成した建屋や既存建屋への設備納入を進めております。

工場竣工に向けてプラントの整備が進捗しております。

2026年7月中旬撮影

Appendix



- ✓ 本書には、当社および当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ✓ 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められる会計原則に従って表示されています。既に行っておりまして今後の見通しに関する発表につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ✓ 本書はいかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付の申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。



ASK

株式会社アサカ理研